



きくぐみだより 2月

平成29年 1月 31日
社会福祉法人尚徳福祉会 松が丘保育園

寒さに負けず、元気に過ごした1月。散歩に出掛けると日陰を探しては霜柱を見つけて踏みしめ、楽しんだきく組の子どもたち。霜や氷に触れた時や手を洗った時、寒い日に外で遊んだ時などに手がかじかむと「びりびりするね」「赤くなっちゃった」と話しながら、この季節ならではの事象にたくさん触れることができました。

先日はお忙しい中、多くの方が保護者会に参加してくださいました。ありがとうございました。

3月の行事予定

3日(金)	ひなまつり	11日(土)	就学祝い会・おおきくなったねの会
14日(火)	おはなし会	15日(水)	幼児身体測定
22日(水)	誕生会	24日(金)	避難訓練

お箸の使用について

スプーンやフォークの使い方が上手になり、持ち方が安定してきたので、一人ひとりに合わせてお箸の使用を始めたいと思います。とはいえ、初めの内はお箸、スプーン、フォークを併用していくつもりです。

きく組の玩具の中には指先を使わないとできない玩具がいくつかあります。日々の中で自然と指先を使い、支える力、力加減などを身につけています。

進めるにあたって、ご家庭の様子など、気になることがありましたらお知らせください。

さようならジャンプ

昨年のゆり組から引き継ぎ、可愛がってきたザリガニのジャンプ。年末の28日の朝、動かなくなっていました。毎朝様子をチェックしていた子どもたちはすぐに気付き、大人に「ジャンプが動かない!」と知らせてくれました。

最後にジャンプの背中にそっと触れ、「バイバイ」とお別れをしたきく組の子どもたち。ジャンプは園庭の隅に埋めました。その日はお休みの子が多く、年が明けて「ジャンプがない!」と驚く友だちに「ジャンプ、死んじゃったんだよ…」と教えていました。

今も時々、ジャンプやクラブが眠る園庭の片隅で「まだいるかな?」と話す姿があったり、そこを掘ろうとする他のクラスの友だちに「そこはダメ!」と教えたり、子どもたちの中に2匹のザリガニの存在は残っているようです。

